

# 大谷學報

第五十一卷 第一号

昭和四十六年七月十日発行

---

涅槃經の説時について……………	横超 慧日 (1)
ベルグソンと文学……………	岩見 至 (18)
——言語への不信に関連して——	
院政期一貴族の信仰生活……………	堅田 修 (32)
真宗教判論序説……………	幡谷 明 (46)
——誓願一仏乗の意義を中心として——	
《書評》	
横超慧日編「北魏仏教の研究」……………	古田 和弘 (67)
彙報…………… (77)	卒業論文題目一覧…………… (79)
講義題目一覧…………… (1)	

---

大 谷 大 学  
大 谷 学 会

大谷大学研究年報 第二十三集

治病方としての天台止観……………安藤 俊雄

——智顗の医学思想序説——

眞実信の論理……………臼井 元成

サッルスティウス『カティリーナ

陰謀記』……………水野 有庸

——古典ラテン語散文による歴史文学の起源——

日本仏教における社会的実践の系譜……………名畑 崇

——菩薩戒の受容とその展開過程——

大谷大学研究年報 第二十三集

清沢満之の「精神」について……………寺川 俊昭

無の問題……………暁鳥 哲夫

——現実性と身体的なもの——

梵網經研究序説……………白土 わか

「沙石集」の構成と説話……………片岡 了

# THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

## CONTENTS

### Articles:

The Period when the Buddha Preached the  
*Nirvāṇa Sūtra*..... Enichi Ōchō ( 1)

Sur la méfiance du langage dans Bergson  
et quelques écrivains..... Itaru Iwami ( 18)

The Devotional Life of an Aristocrat under  
the Rule of a Retired Emperor..... Osamu Katada ( 32)

An Introduction to the Critical Classification  
of the Buddhist Doctrinal Systems in Shin Buddhism  
—With special reference to the meaning of  
'One *Buddha-yāna* based upon *pūrvapranidhāna*'—  
..... Akira Hataya ( 46)

### Book Review:

*A Study of Buddhism in the Northern Wei Dynasty*,  
compiled by Enichi Ōchō..... Kazuhiro Furuta ( 67)

### Reports:

---

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

## 大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・史学・文学並びにこれに関連する學術の研究と、その発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要なる事業

第四条 本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学部のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会長

二、委員

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

会務を統理する。

第七条 委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し、再任をさまたげない。

第八条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け本会主催の会合に出席することができる。

第九条 会員の会費は年額金壹千円とする。

第一〇条 会員の経費は会費をもつてこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第十一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第十二条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 この規程は昭和三十七年四月

一日から施行する。

2、昭和二十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

## 大谷学会役員

委員

岩見 至

太田 祐周

大屋 憲一

柏原 祐泉

日下部有信

栗原 行信

高橋 憲昭

幡谷 明

藤原 幸章

山本 唯一

昭和四十六年七月十日発行

大谷学会代表者

編集兼  
発行者 坂 本

弘

印刷者 西村 七兵衛

京都市北区小山上總町

大谷大学内

発行所 大谷学会

## 大谷学報 第五十巻 第三号

中国浄土教の相承について……………野上 俊静

——善導後身と後善導——

三論宗（平安初期）の仏性説……………富貴原章信

劉禹錫の仏教受容……………河内 昭円

『日本往生極楽記』と

『今昔物語集』巻十五……………石橋 義秀

——観念の念仏から口称の念仏へ——

親鸞に於ける改名と信境の展開……………萩山 深諦

彙 報

## 大谷学報 第五十巻 第四号

「既而有悲願」の義意……………稻葉 秀賢

『彫像』の詩作過程における禅の影響……………内藤 史朗

吳越武肅王錢鏐と仏教……………安藤 智信

——神秘への傾向性と王侯への野望——

象徴と存在……………古賀 武磨

寄贈交換誌目録

彙 報

大谷学報第五十巻総目録

## 大谷学報 第五十卷 第一号

大淀三千風論……………山本 唯一

キルケゴールに於ける「隠れ」の  
意味するもの……………大屋 憲一

僧肇の浄土観……………三桐 慈海

本願成就の論理……………小野 蓮明

——信と時——

重要文化財 宋拓信行禪師興教之碑の修理報告

彙報

卒業論文題目一覧

講義題目一覧

博士学位論文審査要旨

## 大谷学報 第五十卷 第二号

カント「宗教論」の一考察……………寺崎 峻輔

「日本近代化」論の再検討……………小笠原 真

——石門心学に見られる近代思想とその限界——

ヘッセ文学における愛と自由について…友田 孝興

善導の弥陀身土論……………江上 浄信

——『女義分』二乗種不生論と曇鸞教義——

古代における祈雨と仏教……………佐々木令信

——宮中御読経をめぐる——

書評

阿部幸子著「現代英国文学の諸相」…荒木 文雄

彙報